

令和4年度
長和町教育委員会の点検・評価報告書
(令和3年度事業)

令和4年12月
長和町教育委員会

1、はじめに

平成 19 年 6 月に学校教育法、地方教育行政の組織及び運営に関する法律、教職員免許法及び教育公務員特例法の教育 3 法が改正され、改正教育基本法の新しい理念を踏まえた地方教育行政が行われることとなりました。

さらに、平成 26 年 12 月には地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部が改正され、教育委員長と教育長の一体化など教育委員会の責任体制の明確化が図られるとともに、教育委員会が効率的な教育行政を推進し、説明責任を果たしていくために、教育委員会自らの権限に属する事務の管理及び執行状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することが義務付けられました。

長和町教育委員会では、決算審査時に提出する町政白書にて、各事業の現状と問題点、主な事業とその成果、また今後の対策について議会に報告をしてきたところでありますが、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき令和 3 年度の主要な施策や事務事業の取組みについて点検評価を行い、報告書として作成しましたので報告します。

2、教育委員会の開催状況

定例教育委員会は毎月 1 回開催するほか、必要に応じて臨時の委員会を開催しています。

・令和 3 年度実績 定例教育委員会 12 回 臨時教育委員会 2 回

3、教育委員会会議内容

会議名等	期日	主な会議事項
4月定例教育委員会	4月2日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度人事異動について ・令和2年度卒業生の進路について ・令和3年度児童クラブの申込み状況について ・国際交流事業の予定について ・令和3年度生涯学習講座・スポーツ教室の開催について
5月定例教育委員会	5月24日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度各学校の運営について (長門小学校・依田窪南部中学校・和田小学校) ・GIGAスクール構想端末操作研修業務について ・小規模特認校就学特例制度について ・新型コロナウイルス感染症の状況と対応について ・教科書採択における公正確保の徹底等について
6月定例教育委員会	6月14日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・山の子学園共同村・古町公民館敷地の埋蔵文化財発掘調査及び古町コミュニティ建設事業の進捗状況について ・長和町黒耀石鉱山展示施設について ・学校施設について
7月定例教育委員会	7月2日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・視察研修について(鬼無里小学校) ・通学路安全点検について ・スポーツレクリエーション祭2021 依田窪プールまわりの開催について
8月定例教育委員会	8月6日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・就学援助(準要保護)認定審査について ・新型コロナウイルス感染症対策について ・第17回黒耀石のふるさと祭りについて ・令和3年度長和町スポーツ講演会(第15回長和町町民運動会特別企画)について
9月定例教育委員会	9月6日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・長和町奨学金の貸与に関する規則の改正について ・長和町教育支援委員会の判断結果について ・新型コロナウイルス感染症対策について ・議会9月定例会一般質問について ・佐久大学人間福祉学部市町村推薦入試について ・今後予定される生涯学習事業について

10月定例教育委員会	10月5日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度決算について ・令和3年度9月補正予算について ・人権擁護委員の推薦について ・新型コロナウイルス感染症対策及び教育委員会の行事について ・古町コミュニティ事業の進捗状況について ・第64回長野県市町村教育委員会研修総会の開催について ・令和3年度長和町通学路交通安全推進会議の開催について ・小学校等における防犯カメラ設置促進に関する協定書について
第1回臨時教育委員会	10月11日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度和田小学校複式学級について
11月定例教育委員会	11月4日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度全国学力テストの結果について ・第2次男女共同参画計画の策定について ・長和町教育大綱の見直しについて ・副学籍制度の導入について ・黒耀石のふるさと祭りについて ・差別をなくす町民集会について ・文化祭代替企画について ・佐久大学自治体推薦入学試験長和町選抜試験の結果について
第2回臨時教育委員会	12月3日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・長和町教育委員会委員の選任について ・教育長職務代理者の指定について ・上田市長和町中学校組合教育委員会の委員の推薦について
12月定例教育委員会	12月3日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・議会12月定例会一般質問について ・長和町振興計画審議会委員の推薦について ・令和3年度長和町登録文化財建造物候補物件文化庁調査官現地調査・指導について ・差別をなくす町民集会について ・佐久大学長和町選抜試験合格者の2次試験結果について

1月定例教育委員会	1月6日（木）	<ul style="list-style-type: none"> ・長和町教育委員会の点検・評価報告書について ・議会12月定例会一般質問について ・古町コミュニティ施設入札結果について ・男女共同参画計画の策定について ・学校給食における有機農産物提供事業について
2月定例教育委員会	2月3日（木）	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策について ・令和4年度教育委員会関係当初予算 ・第2次長和町長期総合計画後期基本計画について ・令和5年度以降の成人式のあり方について ・副学籍制度の実施要綱案について
3月定例教育委員会	3月7日（木）	<ul style="list-style-type: none"> ・長和町体育施設条例の改正について ・長和町体育施設条例施行規則の改正について ・長和町教育委員会事務局組織規則の改正について ・長和町立小学校における副学籍による交流及び共同学習実施要綱の制定について ・小中学校の卒業式・入学式について ・議会3月定例会一般質問について ・令和4年度公立高等学校入学者後期選抜志願者数について

4、点検・評価について

(1) 対象事業

評価対象事業は、令和3年度主要施策の成果報告書（町政白書）に掲載された教育課関係の事業より抜粋して点検・評価の対象としました。

(2) 評価の判断基準

評価にあたっては、対象事業ごとに現状と問題点、事業とその成果、今後の対策について検証を行い、総合的に自己評価を行いました。なお、評価基準は次のとおりです。

区分	内 容
A	成果が上がっている。 期待以上
B	成果がやや上がっている。 期待どおり
C	成果があまり上がっていない。 期待をやや下回っている
D	成果が上がっていない。 期待以下

5、点検・評価結果

◆学校教育係関係

番号	事務事業名	評価	備考
1	教育委員会	B	予定どおりに開催されており、適切な時期に適正に審議がされた。
2	総合教育会議	B	適切な時期に、必要な内容が協議さえている。
3	教員用住宅管理	C	老朽化により管理が行き届かない箇所がある。
4	高校等通学費補助	A	町独自の補助であり、手厚い支援がされている。
5	就学援助関係事業	B	町として相談支援体制が確立でき、適正な援助がなされている。
6	奨学金及び奨学金貸付運営委員会	B	コロナをはじめ急激な経済変動に対応する要綱の改正を行い、貸与要件を緩和した。
7	給食無償化事業	A	町独自で手厚い支援ができています。
8	新型コロナ対策事業	A	補助事業により衛生用品、備品が整備され感染予防が十分できた。
9	小学校改修工事	B	屋根外壁の改修が完了し、老朽箇所が改善された。
10	小学校空調設置事業	B	夏場に快適な学びの場が提供できた。
11	G I G Aスクール対応事業	B	教員向けの研修、生徒の授業での利活用を並行して実施した。授業への支援員の配置について、手薄な状況となってしまった。
12	通学路安全点検	B	全体的な通学路の点検により関係各所への対応の要望により、改善が今後図られる。
13	スクールバス運行事業	B	小中学校の児童・生徒に対し、町独自の手厚い支援ができています。
14	複式学級対応	B	関係者への十分な説明と検討により、スムーズな移項が実施された。

◆文化財係関係

番号	事務事業名	評価	備考
1	原始・古代ロマン体験館及び黒耀石体験ミュージアム運営事業	B	「星くそ館」の開館とマスメディア等のPR効果によって新型コロナ禍にありながら個人利用者の増加が著しい。
2	史跡星糞峠黒耀石原産地遺跡保存整備事業及び発掘調査事業	C	身障者対応の環境整備、並びに災害対応の復旧整備も迅速に執行できたが、報告書作成事業は、先送りとした。
3	「黒耀石のふるさと」創生事業	B	新型コロナ禍対応のイベントにも、予想以上の参加者が訪れ、継続性が図れた。
4	日本遺産事業	C	広域型日本遺産活動については、地域単位の活動は維持されているが、新型コロナ禍により広域的な活動展開は低迷している。
5	歴史遺産を活かした国際交流事業	B	訪英等の活動は中断したままであるが、4期生の参加や英訳本の刊行など、新たな取り組みも加わり、地道な活動が継承されている。
6	埋蔵文化財発掘調査出土遺物整備事業	A	男女倉遺跡群の資料整理が順調に進んでいる。
7	町内遺跡詳細分布調査	C	緊急調査が優先されたため、実施時期を変更し、規模を縮小して行った。
8	町内遺跡確認調査	A	県の指導支援により、遺跡規模に対して通常ではありえない期間で調査を無事完遂し、内容としても大きな成果を得ることが出来た。
9	長久保宿・和田宿文化財施設運営事業	C	コロナ禍の影響が長引くなか両宿場文化財施設ともに団体利用の減少が顕著。
10	長久保宿・和田宿保存整備事業	B	長久保宿旧本陣が史跡中山道に追加指定される。
11	長和の里歴史館・長和町文書館	B	搬入史資料の整理収納が概ね順調に進む。
12	町指定文化財補助・町歴史的景観保全事業補助	C	コロナ禍のため伝統行事の中止や規模を縮小する等、影響が長引いている。

◆社会教育関係

番号	事務事業名	評価	備考
1	公民館生涯学習講座等	B	新型コロナ感染状況を勘案しながら日程変更、一部休止等の対応はあったものの事業実施はできた。
2	青少年関係事業	B	コロナ対策を行いながら、例年通り教室の開催ができた。
3	社会体育関係事業	B	コロナ禍の中であっても行えるイベントの計画・実施ができた。
4	社会教育関係施設整備事業	B	古町コミュニティ施設については、埋蔵文化財の確認される等新たな対応を迫られることがあり、完成が遅れたものの適正に進められた。 予算で計上した施設改修は実施できた。

◆人権男女共同参画係関係

番号	事務事業名	評価	備考
1	児童館（児童クラブ）運営事業	B	事業が適正に処理できた。
2	隣保館・人権教育	B	差別をなくす町民集会を開催した。
4	男女共同参画事業	B	第2次男女共同参画計画の策定を実施した。
5	図書館運営事業	B	エコールの利用増進を図った。

6、評価対象事業の成果及び今後の対策（令和3年度町政白書より抜粋・要約）

◆学校教育係関係

事業とその成果	今後の対策
1 教育委員会	
<p>・令和3年度は、定例会を毎月1回、臨時会を2回開催した。なお、年度途中で教育委員1名が都合により退任となり1名が就任した。</p>	<p>・教育施策に関する様々な事項について、定例教育委員会及び必要に応じ臨時教育委員会を開催し協議を行う。</p>
2 総合教育会議	
<p>・令和4年3月に総合教育会議を開催し、学校施設や教育における情報化等の状況報告、協議を行った。</p>	<p>・教育に関する重大な施策や緊急の場合に講ずる措置、また教育大綱やいじめ防止対策など協議し、町長と教育委員会との連携を図る。</p>
3 教員用住宅管理	
<p>・入居状況は年間入居10戸、空きが7戸であった。住宅使用料収入は705千円で、施設修繕に402千円を支出した。</p>	<p>・建物、設備が老朽化しており、今後も修理・交換等により対応を行っていくとともに、空き部屋等の状況も踏まえ町営住宅への移管また取壊しも含め検討していく。</p>
4 高校等通学費補助	
<p>・令和3年度における助成件数は全部で134人、総支給額は10,155千円であった。区域別内訳は、丸子地区31人、立科地区10人、その他の地区84人、下宿・入寮等3人、区域外の中学校への通学者4人である。</p>	<p>・本制度の周知を町広報紙等により行い、適切な事業の実施を行っていく。</p>
5 就学援助関係事業	
<p>・就学援助（準要保護）費の支給者は全19件、総支給額は554千円であった。内訳は、小学校9人、中学校10人となっている。</p> <p>入学準備金の前倒し支給は、1件60千円の支出を行った。内訳は中学生1人。また、特別支援教育就学奨励費の支給者は8人、総支給額は100千円である。</p>	<p>・様々な事情を抱えた世帯も多く、非正規雇用など雇用環境や所得の伸び悩みが依然として変わらないことから、保護者への周知徹底、経済的な生活実態の把握に努め、低所得である家庭の支援をしていく。</p>
6 奨学基金及び奨学金貸付運営委員会	
<p>・奨学金は高等学校及び高等専門学校の生徒は月額25千円、大学・短期大学及び専修学校の学生は月額40千円を無利子で貸与している。</p> <p>令和3年度は4件の申請があり、審査の結果4件の貸与が決定した。</p>	<p>・申請件数の増加を目標に、今後広報活動の強化を図る。</p>

事業とその成果	今後の対策
7 給食費無償化	
<ul style="list-style-type: none"> ・食材費の支出は 208 名分 11,787 千円、依田窪南部中学校へは 127 名分 7,036 千円、町外の小中学校へ通う児童生徒への償還払いは 4 名分 252 千円の支出を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・給食費無償化に伴い、安全安心、地元食材の活用、残飯の削減をさらに奨励していきたい。
8 新型コロナ対策事業	
<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、衛生用品を整備した。手指消毒用アルコール、換気用大型扇風機、空気清浄機等の購入を行い、1,620 千円の支出を行った。国庫補助 800 千円（1/2） 	<ul style="list-style-type: none"> ・マスク着用、手洗い、うがい、消毒の徹底を継続する。G I G A スクール事業により導入した端末の有効活用を進める。
9 小学校改修工事	
<ul style="list-style-type: none"> ・長門小学校は令和元年度に長寿命化計画を策定し、令和 3 年度に計画に基づき外壁、屋根の大規模改修工事を行った。 工事費 49,280 千円、設計管理費 2,860 千円 (国庫補助 14,780 千円) 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和 4 年度も引き続き大規模改修工事を進める。改修内容は令和 3 年度と同様に、屋根の防水シート工事、壁の補修と外壁塗装、窓枠シール取り換え工事を予定している。
10 小学校空調設置工事	
<ul style="list-style-type: none"> ・長門小学校（特別支援教室、心の相談室、3～6 年予備教室） 工事費 14,630 千円、設計監理費 1,045 千円 (国庫補助 1,314 千円) 	<ul style="list-style-type: none"> ・和田小学校 2 階音楽室、会議室、図書館について計画的に修繕を進める。
11 G I G A スクール対応事業	
<ul style="list-style-type: none"> ・G I G A スクール対応、I C T 教育推進のため教員向けの研修会を行った。I C T サポーターを配置し、相談支援体制を整えた。 事業費 2,629 千円（国庫補助 1,314 千円） 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和 4 年度も教員用の学習端末の研修会を引き続き実施する。学習端末の授業への利用、家庭学習への利用について有効活用を進める。
12 通学路安全点検	
<ul style="list-style-type: none"> ・千葉県八街市における児童の交通事故被害を踏まえ、通学路の交通安全点検を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・交通安全点検の危険個所について、早急に改善を図るとともに、危険個所の周知の徹底を図る。
13 スクールバス運行事業	
<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校のスクールバスの運行委託に加え、蓼科高校のスクールバスについても運行业務委託を町で行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関と協議し、適切なスクールバスの運行に努めていく。

事業とその成果	今後の対策
14 複式学級対応	
<ul style="list-style-type: none"> ・和田小学校において、令和4年4月に入学する新1年生が3名であり、1・2年生合わせて6名ということで複式学級になる。 複式学級に向け、学校と協議するとともに、説明会等を開催した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童数により教員の配置が決まるが、県基準の特別加配や町費の講師の採用により複式学級であっても効果的な学習ができるようにする。教員の配置に関する基準については、今後も国や県の動向を注視していく。

◆文化財係関係

事業とその成果	今後の対策
1 原始・古代ロマン体験館及び黒耀石体験ミュージアム運営事業	
<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大に伴い9月3日から9月12日まで臨時休館とした。他の開館日は感染拡大防止策を講じて入館者の受け入れを行った。体験学習については、感染警戒レベルに合わせて、内容の見直し、また全面休止期間を設けた。 両施設の入館者数は、令和2年度の6,158名に対して令和3年度は約2倍となる12,277人を数え、令和元年度の16,288名と比較しても約75%まで回復した。コロナ禍の影響で団体利用者が減少したが、一般の個人利用者は増加した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じながら、増加傾向にある家族を中心とした個人利用者が安心して楽しめる体験等の受け入れに心がけ、これまでの経験から口コミでの利用促進の効果も大きいため、丹念に当地域の魅力発信に努める。 また、団体利用者も、状況によって変動があるため、コロナ禍における受け入れ方法等に創意工夫を重ねる。
2 史跡星糞峠黒耀石原産地遺跡保存整備事業及び発掘調査事業	
<ul style="list-style-type: none"> ・黒耀石原産地遺跡の保存展示施設である「星くそ館」は7月に開館したが8月の集中豪雨により遊歩道が棄損し、約1か月臨時休館となった。しかし、メディアの影響もあり、冬季閉鎖までの92日間で2,660名の入館者があった。また、町民向けの利用促進としては、シャトルバスの運行企画も実施した。 ・令和3年度の整備事業は、作業道から星くそ館施設入口部の接続する車いす用スロープの設置工事を実施した。 ・発掘調査事業では、第1号採掘址から出土した有機物遺物（ザル片）の保存処理を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度は、開館初年度で遊歩道の毀損も重なったため、星糞峠への送迎サービスに力を入れたが、次年度以降は、丁寧なアナウンスによって森林公園の魅力を伝えるとともに徒歩での入館利用を促す。また、地域住民向けの見学会や、地元の子供たちが利用しやすいように、授業での利用や休館日である月曜日の臨時会館など新型コロナ禍対策の工夫も図る。 ・採掘址における木製の掘り棒・ザルなどの有機質資料は、世界的にも貴重な発見例であるため、展示コーナーを設けて段階的に実物を公開する。 ・鷹山遺跡群IXの刊行を目指す。

<ul style="list-style-type: none"> ・報告書「鷹山遺跡群IX」の刊行事業については、国庫補助事業・緊急調査との関係で先送りとした。 保存整備事業 7,378 千円 発掘調査事業 198 千円 	
<h3>3「黒耀石のふるさと」創生事業</h3>	
<ul style="list-style-type: none"> ・史跡公園整備は、星くそ館に直結する作業道の立枯支障木の伐採し、その除伐材を再利用してウッドチップの敷設、ベンチの設置を行った。 事業費 197 千円 (県補助 197 千円：森林づくり推進支援金) ・黒耀石のふるさと祭りは、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、8月から11月に日程及び内容を変更して開催した。主な内容は講演会とトークショーであったが、その様子をYouTubeで配信した。また、地域の商工観光施設と連携してスタンプラリーを実施した。 事業費 1,291 千円 (国補助 1,040 千円：文化庁文化芸術振興費補助金) 	<ul style="list-style-type: none"> ・森林整備は、星くそ館の利用促進を念頭に、環境整備と共に安全対策として長期的に実施していく。 ・新型コロナ禍対応のイベントとして状況を判断しながらワークショップの内容も検討し、継続開催する。
<h3>4 日本遺産事業</h3>	
<ul style="list-style-type: none"> ・長野・山梨の2県14市町村で構成される日本遺産「星降る中部高地の縄文世界」の活動は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、今後の事業展開に向けた企画策定が主となっている。町の取り組みとしては、町内の日本遺産構成文化財について情報発信を行うHPの編集委員会を発足して、編集企画に取り組みコラム記事の制作を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ポストコロナに向けて日本遺産を構成する文化財の磨き上げと活用の方向性を検討し、新たな広域連携への取り組みによる活用推進を図る。
<h3>5 歴史遺産を活かした国際交流事業</h3>	
<ul style="list-style-type: none"> ・3期生の英国渡航交流事業を計画していたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により渡航を1年延期することとした。8月には4期生が決定し、11月には3期生4期生合同で研修と長野県立歴史館への訪問を実施した。 ・長和町を中核とする黒耀石研究の成果と概要の英訳本を出版した。 国内研修事業 255 千円 英訳本出版事業 800 千円 (東芝国際交流財団助成金 800 千円) 	<ul style="list-style-type: none"> ・変動する国際情勢の中で、国際交流事業の大きな柱となる『長和青少年黒耀石大使』制度の意義と継承の在り方を再考し、保・小・中の一貫した英語教育と国際理解教育の気運醸成を目指す。 ・新たな研究成果も踏まえ、地域の歴史を世界的な視野から捉えなおし、その魅力を広く発信する。

事業とその成果	今後の対策
6 埋蔵文化財発掘調査出土遺物整備事業	
<p>・信州大学から寄贈を受けた信州ローム研究会の発掘資料の整理を、平成 27 年からおよそ 10 ヶ年計画で継続的に行っている。これまでの資料整理の成果の一部は黒耀石体験ミュージアムの展示、または、文化庁主催の列島展でその一部を公開した。</p> <p>埋蔵文化財発掘調査出土遺物整備事業 1,960 千円 (国庫補助 980 千円)</p>	<p>・10 ヶ年計画で整理作業を行ってきた男女倉地区の発掘資料は、黒耀石研究の発信源となった学史的な資料である。令和 5 年度の報告書作成による情報公開に向けて、これまでの整理作業の成果を体系的にまとめる。</p>
7 町内遺跡詳細分布調査	
<p>・町内遺跡詳細分布調査について、令和 3 年度は和田地区（野々入地区、橋場から上深山口地区）の分布調査を実施し、新たな遺跡分布の情報を把握した。</p> <p>町内遺跡詳細分布調査事業 8,291 千円 (国庫補助 1,712 千円)</p>	<p>・町内遺跡分布調査は、県の指導支援を得て人員体制を補い、和田地区の踏査から新たに長門古町地区に踏査範囲を展開する。</p>
8 町内遺跡確認調査	
<p>・町内開発行為に伴う埋蔵文化財の保護業務として、県の指導支援による人員体制を強化し、姫木平キャンプ場（標ノ木平遺跡）と山の子学園共同村障がい者支援施設及び古町コミュニティ施設（藤ノ木Ⅱ遺跡）の発掘調査を完遂した。</p> <p>また、長久保宿本陣（石合家）の国史跡追加に向けた試掘調査を実施し、申請の基礎となる新たな情報を得ることが出来た。</p> <p>事業費 標ノ木平遺跡 1,405 千円（全額事業者負担） 藤ノ木Ⅱ遺跡 6,640 千円（3,257 千円事業者負担）</p>	<p>・町内遺跡確認調査による埋蔵文化財の適切な保存に努める。</p> <p>・記録保存として発掘調査が実施された標ノ木平遺跡と藤ノ木Ⅱ遺跡については、報告書刊行に向けて発掘資料の整理作業を行う。</p>

事業とその成果	今後の対策
9 長久保宿・和田宿文化財施設運営事業	
<ul style="list-style-type: none"> ・長久保宿歴史資料館一福処濱屋利用者数 約 720 人、長久保宿丸木屋利用者数 約 490 人 (9/3～9/13 コロナ禍により臨時休館、冬季間 12/1～3/末の一般公開は閉館) ・和田宿本陣ほか宿内文化財施設入館者数 2,350 人 (9/3～9/13 コロナ禍により臨時休館、冬季間 12/1～3/末は閉館) ・コロナ禍により利用者の減少が顕著であるが、和田宿本陣等については個人入館者が徐々に復活の傾向にある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中山道筋の近隣市町や積極的な取り組み行う団体機関と情報交換、交流促進を図り、中山道の広域的な保存活用における連携強化に努めたい。
10 長久保宿・和田宿保存整備事業	
<ul style="list-style-type: none"> ・歴史の道資料館かわちや門塀修理工事 工事費 1,265 千円 設計監理料 198 千円 ・和田宿なが井立木伐採委託 2,673 千円 ・長久保宿旧本陣の史跡中山道追加指定に関連して、試掘調査、意見具申書の作成、提出等を経て、3月に追加指定となった。 ・国登録有形文化財候補の文化庁現地視察指導。 旧和田中学校校舎他、宿場建物 5 件。 	<ul style="list-style-type: none"> ・国史跡中山道追加指定となった長久保宿旧本陣の保存整備を推進し、さらに、両宿場の伝統的建造物については、保存整備に向けた所有者との協議を行うとともに、可能な物件は国の登録有形文化財への登録を図っていく。
11 長和の里歴史館・長和町文書館	
<ul style="list-style-type: none"> ・平成 17 年町村合併文書・資料、和田地区の寄贈古文書等の整理収納を実施した。 ・信濃史学会公開シンポジウム「公文書と地域資料の保全」において事例報告を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・両宿に所在する近世文書は、長和の里歴史館への収納保管に向け個々の所有者に啓発を促し、収蔵主要文書は史料集としてまとめ生涯学習講座や小中学校の教材としても利活用を図っていく。 ・町公文書で保存期限を過ぎたものの将来的に歴史的価値が生じるものは、長和町文書館（長和の里歴史館）に収集保管して整理を行い、国立公文書館の助言指導を得ながら公開基準を作成し、利活用を図っていく。
12 町指定文化財補助・町歴史的景観保全事業補助	
<ul style="list-style-type: none"> ・町指定文化財補助（山車保存会他 6 件） 事業費 2,610 千円（うち各財産区繰入金 315 千円） ・町歴史的景観保全事業補助（上組地藏堂修理工事補助、宮ノ上天満宮修理工事補助） 事業費 2,981 千円（大門財産区繰入金 342 千円） 	<ul style="list-style-type: none"> ・文化財の滅失や散逸を防ぎ、未指定を含めた文化財をまちづくりに活かし、地域一丸となってその継承を図るため、国が推奨する地域の文化財の保存・活用に関する総合的な計画（文化財保存活用地域計画）を作成し、国の認定を目指す。

◆社会教育係関係

事業とその成果		今後の対策																																										
1 公民館生涯学習講座等																																												
<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習講座 <table border="1"> <thead> <tr> <th>講座・教室</th> <th>参加者数</th> <th>開催回数・期間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>古文書教室</td> <td>10名</td> <td>9回(月1回)</td> </tr> <tr> <td>籐細工教室</td> <td>8名</td> <td>5回(6月～10月)</td> </tr> <tr> <td>郷土史を学ぶ会</td> <td>19名</td> <td>11回(月1回)</td> </tr> <tr> <td>英会話教室</td> <td>12名</td> <td>20回(月2回)</td> </tr> <tr> <td>ジュニア英会話教室</td> <td>14名</td> <td>20回(月2回)</td> </tr> <tr> <td>バーニングアート教室</td> <td>10名</td> <td>5回(7月～11月)</td> </tr> <tr> <td>長和町民大学</td> <td colspan="2">令和3年度休止</td> </tr> <tr> <td>俳句会・短歌会</td> <td>8名</td> <td>10回(各月1回)</td> </tr> <tr> <td>長和写真教室</td> <td>6名</td> <td>10回(6月～3月)</td> </tr> <tr> <td>ハイキングクラブ</td> <td>23名</td> <td>1回(7月)</td> </tr> <tr> <td>クラフトバンド教室</td> <td>22名</td> <td>5回(6月～10月)</td> </tr> <tr> <td>ピラティス教室</td> <td>25名</td> <td>12回(7月～12月)</td> </tr> <tr> <td>アロマ&ハーブ教室</td> <td>16名</td> <td>9回(6月～1月)</td> </tr> </tbody> </table>		講座・教室	参加者数	開催回数・期間	古文書教室	10名	9回(月1回)	籐細工教室	8名	5回(6月～10月)	郷土史を学ぶ会	19名	11回(月1回)	英会話教室	12名	20回(月2回)	ジュニア英会話教室	14名	20回(月2回)	バーニングアート教室	10名	5回(7月～11月)	長和町民大学	令和3年度休止		俳句会・短歌会	8名	10回(各月1回)	長和写真教室	6名	10回(6月～3月)	ハイキングクラブ	23名	1回(7月)	クラフトバンド教室	22名	5回(6月～10月)	ピラティス教室	25名	12回(7月～12月)	アロマ&ハーブ教室	16名	9回(6月～1月)	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染拡大は、前年度に引き続き公民館活動にも大きな影響を与えた。 その中でも長和町総合文化祭は中止を決定したものの、期間を設けた役場内での作品展示会、やケーブルテレビによるステージ発表の放映を行った。 令和4年の成人式については、ながと不動太鼓と和田獅子太鼓の演奏のアトラクションを行うなど、今までになかった企画を行うことができた。 また、町民ハイキングはバス等による移動を避け、町内でポールウォーキングとして夏と秋に実施した。「町内でも知らないところがたくさん発見できた。」などの意見をいただき、好評を得られた。 今後もwithコロナの視点に立った公民館事業、スポーツイベントの企画・立案を目指す。
講座・教室	参加者数	開催回数・期間																																										
古文書教室	10名	9回(月1回)																																										
籐細工教室	8名	5回(6月～10月)																																										
郷土史を学ぶ会	19名	11回(月1回)																																										
英会話教室	12名	20回(月2回)																																										
ジュニア英会話教室	14名	20回(月2回)																																										
バーニングアート教室	10名	5回(7月～11月)																																										
長和町民大学	令和3年度休止																																											
俳句会・短歌会	8名	10回(各月1回)																																										
長和写真教室	6名	10回(6月～3月)																																										
ハイキングクラブ	23名	1回(7月)																																										
クラフトバンド教室	22名	5回(6月～10月)																																										
ピラティス教室	25名	12回(7月～12月)																																										
アロマ&ハーブ教室	16名	9回(6月～1月)																																										
2 青少年関係事業																																												
<ul style="list-style-type: none"> 令和3年成人式は、令和3年5月2日に延期して開催した。(参加者24人)令和4年成人式は令和4年1月2日に開催した。(参加者37人) ふるさと探検隊は、「親子森林体験教室」として7月に実施した。(参加者19人) ジュニアスポーツ教室 <table border="1"> <thead> <tr> <th>教室</th> <th>参加者数</th> <th>開催回数・期間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>少年野球教室</td> <td>15名</td> <td>通年</td> </tr> <tr> <td>サッカー教室</td> <td>12名</td> <td>通年</td> </tr> <tr> <td>バレーボール教室</td> <td>11名</td> <td>通年</td> </tr> <tr> <td>柔道教室</td> <td>2名</td> <td>通年</td> </tr> <tr> <td>剣道教室</td> <td>6名</td> <td>通年</td> </tr> <tr> <td>空手教室</td> <td>18名</td> <td>通年</td> </tr> <tr> <td>合気道教室</td> <td>5名</td> <td>通年</td> </tr> <tr> <td>バスケットボール教室</td> <td>55名</td> <td>通年</td> </tr> <tr> <td>ジュニアスキー教室</td> <td>61名</td> <td>3回開催 (1～3月)</td> </tr> <tr> <td>ゴルフ教室</td> <td>4名</td> <td>8回開催 (6～9月)</td> </tr> <tr> <td>ソフトテニス教室 (たけしスポーツクラブ主催)</td> <td>14名</td> <td>通年</td> </tr> <tr> <td>キッズダンス教室 (たけしスポーツクラブ主催)</td> <td>8名</td> <td>通年</td> </tr> </tbody> </table>		教室	参加者数	開催回数・期間	少年野球教室	15名	通年	サッカー教室	12名	通年	バレーボール教室	11名	通年	柔道教室	2名	通年	剣道教室	6名	通年	空手教室	18名	通年	合気道教室	5名	通年	バスケットボール教室	55名	通年	ジュニアスキー教室	61名	3回開催 (1～3月)	ゴルフ教室	4名	8回開催 (6～9月)	ソフトテニス教室 (たけしスポーツクラブ主催)	14名	通年	キッズダンス教室 (たけしスポーツクラブ主催)	8名	通年	<ul style="list-style-type: none"> 一貫指導体制の必要性・高齢者の生きがいの場・競技種目の多様性に対応するため設立した「ながわスポーツクラブ」について、小・中学生を対象としたジュニアスポーツ教室の内容及び活動は充実してきている一方、高校生以上を対象とした事業については会員数の増加に向けて、新たな企画を考える。 今後は、いつでも・どこでも・だれでもが参加でき、種目、世代や年齢、技術等についての多様性を包含できる「総合型地域スポーツクラブ」の内容及びあり方等について更に研究し、「ながわスポーツクラブ」の育成に取り組んでいきたい。 			
教室	参加者数	開催回数・期間																																										
少年野球教室	15名	通年																																										
サッカー教室	12名	通年																																										
バレーボール教室	11名	通年																																										
柔道教室	2名	通年																																										
剣道教室	6名	通年																																										
空手教室	18名	通年																																										
合気道教室	5名	通年																																										
バスケットボール教室	55名	通年																																										
ジュニアスキー教室	61名	3回開催 (1～3月)																																										
ゴルフ教室	4名	8回開催 (6～9月)																																										
ソフトテニス教室 (たけしスポーツクラブ主催)	14名	通年																																										
キッズダンス教室 (たけしスポーツクラブ主催)	8名	通年																																										

事業とその成果	今後の対策																																															
3 社会体育関係事業																																																
<p>・町民運動会の代替企画として町民スポーツ講演会を企画したが、コロナ禍により中止となった。</p> <p>・社会体育関係事業</p> <table border="1" data-bbox="159 481 785 1339"> <thead> <tr> <th>教室・大会・イベント名</th> <th>参加者数</th> <th>開催回数・期間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>剣道教室</td> <td>6名</td> <td>通年</td> </tr> <tr> <td>空手教室</td> <td>18名</td> <td>通年</td> </tr> <tr> <td>合気道教室</td> <td>5名</td> <td>通年</td> </tr> <tr> <td>バスケットボール教室</td> <td>55名</td> <td>通年</td> </tr> <tr> <td>ゴルフ教室</td> <td>4名</td> <td>8回開催 (6～9月)</td> </tr> <tr> <td>プールで体を動かそう教室</td> <td>8名</td> <td>5回開催 (7月～8月)</td> </tr> <tr> <td>第16回町民ゴルフ大会</td> <td>-</td> <td>開催中止</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">町民ハイキング</td> <td>14名</td> <td>7月11日(日)</td> </tr> <tr> <td>22名</td> <td>11月21日(日)</td> </tr> <tr> <td>令和3年度 町民スポーツ講演会</td> <td>-</td> <td>開催中止</td> </tr> <tr> <td>依田窪柔剣道大会</td> <td>-</td> <td>開催中止</td> </tr> <tr> <td>スポーツクリエイション祭 「ふれあいウォーキング」</td> <td>-</td> <td>開催中止</td> </tr> <tr> <td>スポーツクリエイション祭 「依田窪プールまつり」</td> <td>199名</td> <td>7月17日(土)</td> </tr> <tr> <td>スポーツクリエイション祭 「青木村で遊ぼう」</td> <td>-</td> <td>開催中止</td> </tr> <tr> <td>スポーツクリエイション祭 「スケート場まつり」</td> <td>254名</td> <td>12月19日</td> </tr> </tbody> </table>	教室・大会・イベント名	参加者数	開催回数・期間	剣道教室	6名	通年	空手教室	18名	通年	合気道教室	5名	通年	バスケットボール教室	55名	通年	ゴルフ教室	4名	8回開催 (6～9月)	プールで体を動かそう教室	8名	5回開催 (7月～8月)	第16回町民ゴルフ大会	-	開催中止	町民ハイキング	14名	7月11日(日)	22名	11月21日(日)	令和3年度 町民スポーツ講演会	-	開催中止	依田窪柔剣道大会	-	開催中止	スポーツクリエイション祭 「ふれあいウォーキング」	-	開催中止	スポーツクリエイション祭 「依田窪プールまつり」	199名	7月17日(土)	スポーツクリエイション祭 「青木村で遊ぼう」	-	開催中止	スポーツクリエイション祭 「スケート場まつり」	254名	12月19日	<p>・時間的な余裕がないことに加え、新型コロナウイルスの感染拡大は、スポーツ及び運動の必要性を認識していても、実際には活動できない人の増加につながっている。</p> <p>こうした状況を踏まえ、地域住民が気軽に参加でき、多様なスポーツを体験、また楽しめるような各種運動教室を開設し、住民の健康増進の実現を目指す。</p>
教室・大会・イベント名	参加者数	開催回数・期間																																														
剣道教室	6名	通年																																														
空手教室	18名	通年																																														
合気道教室	5名	通年																																														
バスケットボール教室	55名	通年																																														
ゴルフ教室	4名	8回開催 (6～9月)																																														
プールで体を動かそう教室	8名	5回開催 (7月～8月)																																														
第16回町民ゴルフ大会	-	開催中止																																														
町民ハイキング	14名	7月11日(日)																																														
	22名	11月21日(日)																																														
令和3年度 町民スポーツ講演会	-	開催中止																																														
依田窪柔剣道大会	-	開催中止																																														
スポーツクリエイション祭 「ふれあいウォーキング」	-	開催中止																																														
スポーツクリエイション祭 「依田窪プールまつり」	199名	7月17日(土)																																														
スポーツクリエイション祭 「青木村で遊ぼう」	-	開催中止																																														
スポーツクリエイション祭 「スケート場まつり」	254名	12月19日																																														
4 社会教育関係施設整備事業																																																
<p>・古町コミュニティ施設建設予定地に縄文時代、平安時代の遺跡が確認され、発掘調査が必要になった。本体工事は発掘調査終了後となり、工期が令和4年8月まで延長された。</p> <p>・古町コミュニティ施設工事関係 設計監理費 8,679千円 (監理分2,200千円は令和4年度へ繰越し) 旧古町公民館解体工事 39,380千円 地盤改良工事 6,776千円 建築関連工事 310,244千円 (内186,782千円は令和4年度へ繰越し)</p>	<p>・山の子学園共同村移転に伴う障がい者支援施設に併設となる古町コミュニティ施設の整備については、既存の古町公民館の解体撤去後、現地で縄文時代の遺跡が確認されたことによる現地調査の実施、関連して本工事前の地盤改良工事を行う必要があったことから、本体工事の着工が遅れたが、令和4年8月の完成を目指す。</p> <p>今後、公民館施設、体育施設など、老朽化による大規模な修繕、建替えが必要となってくる施設が多く、個別施設整備計画を勘案しながら順次対応していく。</p>																																															

◆人権男女共同参画係関係

事業とその成果	今後の対策
1 児童館（児童クラブ）運営事業	
<ul style="list-style-type: none"> ・長門児童クラブ 長門児童館で実施 クラブ登録者数 88 人 ・和田児童クラブ 旧和田老人福祉センターで実施 クラブ登録者数8人 ・令和3年度放課後児童健全育成事業（長門、和田児童クラブ 事業費：16976千円、うち補助金国庫：2,453千円、県費：2,453千円） ・令和3年度児童クラブ利用実績 長門児童クラブ（小学生）8,662人 1日平均33人 和田児童クラブ（小学生）818人 1日平均4人 ・小学校の長期休暇時は、利用時間が長く児童数も増える事から、午前と午後それぞれ5名交代で対応した。（平日は5～6名で対応） アルバイトの大学生10人が、元気な児童達と一緒に駆け回って遊んでくれ大変助けられた。代替補助員を含むスタッフが全員で19名になり、勤務態勢の改善に繋がった。有資格者は長門3名、和田1名いる。 ・季節ごとに「おやつ作り」、「クリスマス会」、「ハロウィンパーティー」等の行事を行い、児童達からは大変好評を得た。 ・新型コロナウイルス感染予防対策として、加湿空気清浄機の導入（長門4台、和田3台）、施設内の除菌（テーブル、椅子、トイレ等）、児童や職員の手洗い、うがい、手指消毒、といった対策を行った。加えて臨時休校中は、来館時の検温実施や、保護者に対し家庭での様子を聞き取る等、感染の予防に努めた。 ・保護者面談をして、初めて家庭環境を知ることができたので、申し込み家庭全員の面談は大変だったが、重要だと分かった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全確保の観点から、外遊びは施設の敷地内のみという事を徹底させる。外の見回りを徹底して危険箇所を確認する。和田児童クラブの施設利用については管理面にも配慮が必要であり、一層の注意を払う。 ・全国的に児童が関連する事件や事故が多い中、安全確保の観点からも支援員、支援補助員の充実が必要である。発達障がいなど配慮が必要な児童（注意されたことを理解するのが難しい児童）が増えている為、児童6人に対し補助員1人が理想と思われる。また、専門分野の先生に常時相談できる現場が望ましい。対応する支援員も安心できる環境整備が必要である。 ・児童達がどんな事に興味があるか、どんな事をやりたいか等、意見を聞きながら行事を取り入れていく。 ・玄関外の屋根や集会室の雨漏りやエアコンなど、修理が必要である。

事業とその成果	今後の対策
2 隣保館・人権教育	
<ul style="list-style-type: none"> ・人権の花運動「提供事業」(4月21日) 花を協力して育てることを通じてやさしさや思いやりの心を学び、人権尊重思想を育むことを目的とする。花の種、プランター等を配布。 参加者：長門小学校、和田小学校 ・新任教職員、人権担当者、新規採用町職員人権研修会・・・コロナ禍のため中止 ・第17回差別をなくす町民集会(12月7日) 講師：劇団俳優座 有馬理恵氏 講演：いのちをみつめて～お芝居とおはなし～ 集会宣言の採択 人権標語を会場内に掲示 ・分館長会人権研修(3月22日・28日) 分館長会議に合わせ分館長への人権研修を実施。 ・議員、町職員人権研修会・・・コロナ禍のため中止 ・隣保館活動として開催した講座により住民交流の促進事業を行った。 フラワーアレンジメント教室 9回 初心者向け編み物教室 中止 こども・おとなバレエ教室 各10回 ・ふれあい館まつり 中止 ・日々の暮らしの中での身近な心配ごとや悩みごとに対し、住民が無料で相談を受けられる「心配ごと相談事業」を、長和町社会福祉協議会と共同で実施した。 日時 毎月第3水曜日 10:00～12:00 会場 町内4カ所(長門老人福祉センター、和田コミュニティセンター、長和町役場、大門基幹集落センター) 相談件数 25件 	<ul style="list-style-type: none"> ・人間としての尊厳と基本的人権の尊重される社会を実現するため、引き続き人権教育・人権啓発活動を推進する。 ・あらゆる差別を早期に解消することを目的として、適切な施策を行っていく。 ・地域福祉の推進施設として、関係機関との連携を強化し地域に密着した事業、啓発活動に取り組んでいく。 ・インターネット等新たな媒体を利用した差別事象などが発生する中で、国、県、関係団体と連携を密にしながら対策を講じていく。 ・研修会(リモート研修を含む)への出席、他地域での現状を知るためにも交流集会などへ参加することで、正しい知識と最新の状況把握に努める。

事業とその成果	今後の対策
3 男女共同参画事業	
<ul style="list-style-type: none"> ・平成19年に策定した「長和町男女共同参画計画」における主要課題や重点目標を、時代や社会の変化、新しい課題に対応できるよう見直しを図るため、「第2次長和町男女共同参画計画」の策定を進めた。(令和4年5月完成) 	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画の推進については、第2次計画に基づく推進委員会を立ち上げ、必要な施策を進めていく。 ・ここ数年来の課題である様々な分野での女性のチャレンジ支援、能力活用を促進し、地域の特性を活かした積極的な取り組みをするため、庁舎内各部署と連携を図りながら、男女共同参画推進委員会を活用して事業を推進していく。 ・雇用分野において働く人が性別により差別されることなく、また、働く女性が母性を尊重されつつ、その能力を十分発揮する事が出来る雇用環境の整備のために更なる男女雇用機会均等の推進を図る。
4 図書館運営事業	
<ul style="list-style-type: none"> ・上田市・東御市・坂城町・青木村・長和町内の10の図書館及び図書室から構成される上田地域図書館情報ネットワーク構成図書館(通称エコール)に加盟し、自館分を含め総蔵書数約1,020,200冊(R3年度末現在)の図書を相互貸借出来る。 ・エコールに蔵書が無い本は、利用者の要望により県内図書館から相互貸借で取り寄せて貸出を行い利用者の便宜を図った。 ・広報に掲載されたお勧め図書などに対する利用者からの問い合わせがあり、来館された利用者の貸出率アップに繋がった。 ・エコールのシステム更新にあわせ、ホームページがリニューアルされ、スマホ対応画面等の追加によりWeb予約希望者が増加した。 ・蔵書数等 <ul style="list-style-type: none"> 当館蔵書数 18,809冊 (R4年3月末現在) 新規図書購入数 339冊 (事業費 549,849円) 新聞購入 2紙 逐次刊行物 8誌 月刊誌、週刊誌、季刊誌 ・利用実績 <ul style="list-style-type: none"> 貸出冊数 7,297冊、開館日数 275日 1日平均貸出冊数 27冊、1日平均利用者数 9人 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館利用の促進を図るために、町広報紙、町ホームページ図書館コーナーを利用してその存在を広く町内外に知らせ、可能な限りリクエストにも対応する。 ・利用者のニーズに合わせた選書を行い、尚且つ、バランスの取れた蔵書構成を心がける。限られた書架スペースを有効に使うために、適時除籍を行い蔵書のリフレッシュ化に努める。 ・インターネット予約は、ネット環境が整っていればどこにいても予約可能な為、直接カウンターに来られた利用者の予約を優先する等高齢者に代表される情報弱者やインターネット利用に制限がある利用者への配慮を引き続き実施していく。 ・新型コロナウイルス蔓延防止対策として、館内消毒・返却本の消毒・利用者の手指消毒・マスク着用・必要に応じて館内滞在時間と人数制限を設ける等の措置を続行していく。

7、外部評価

(1) 学識経験者

(敬称略)

水出 一寛	元小学校校長 (現 小学校講師)
中原 宏美	元教育委員

(2) 主な意見等

◆学校教育関係

○時間的な制約はあると思うが、できる限り学校へ足を運び、学校現場に対して実感をもって実態把握してほしい。特に現場の教職員の声をしっかり自分の耳で聞き、現場の様子を自分の目で見てほしい。

○奨学金貸付制度は使い勝手がよい制度なので、多くの方に利用してもらえるように周知を徹底してはどうか。

◆文化財関係

○「本町に関わる人材」についても資料を整理し誰でも閲覧できるようにしておく必要がある。

○「星くそ館」ができたことは大きな成果だと思う。県内外からの集客に大きく寄与できると思うが、町内の他の体験施設(和紙の里等)と連携し誘客を図っていただきたい。

◆社会教育関係

○今後も魅力的な学習講座や各種スポーツ教室等を企画してほしい。

○様々な生涯学習講座があっても魅力的ではあるが、平日勤務されている方は中々参加し難い時間帯で設定されている講座が多い。講座の開設にあたっては、平日勤務されている方が参加しやすい時間帯も考慮していただきたい。

○スポーツ教室についても、気軽に参加できる教室がもう少しあればよいと思う。

◆人権男女共同参画係関係

- 「放課後子ども教室を立ち上げる」とあるが、具体的な見通しはあるのか。実際に立ち上げるのは誰がやるのか。引き受ける人材はいるのか。
- 「年々児童クラブの申し込みが増加傾向にあり居場所が不足している」とあるが、どのような対応を考えているのか。
- 依然、新型コロナウイルスの感染が収束していない中で、密を避けるためにも児童クラブの場所の確保について検討していただきたい。
- 住民へのサービスを提供する図書館が、なぜ日曜日休館になったのか。図書館利用者(町外も含む)や地域住民からするととても不便になる。特に、平日勤めている者や家族で利用したい者等にとっては不便だと思う。
- 図書館が狭く、また児童クラブと併設なので中々行きにくい。図書館のスペースをもう少し広くしていただくとともに、子どもの学習スペースを確保していただきたい。